

地域の主体と連携した環境保全活動

グリP

活動目的

私たちは地域の主体と連携した活動によって環境保全を推進することを目的としています。

活動内容と成果

今年度は大学周辺の竹林整備と茂木地区のびわ畑の整備に取り組みました。

■竹林整備活動

竹林整備は毎年夏にプロジェクト発足時から継続して行っている活動で、整備で切った竹は灯籠に加工して8月下旬に行われる地元の水族館のイベントに展示しています。竹の伐採には、日見地域の大人の方だけでなく、学童保育所に通う小学生たちも協力してくれます。活動は5月ごろから地域住民による団体と話し合いを重ね、7月から竹の伐採を始めました。竹は山林の所有者の高齢化などにより手入れが行き届いていないところを伐採します。竹を伐採したらしばらく乾燥させて、8月に学童保育所の子どもたちと竹灯籠の製作作業に入ります。残念ながらイベント当日に雨が降り、長時間点灯させることができなかったものの、来場者に喜んでいただくことができました。今回は1600本を用意することができ、竹灯籠でペンギンをイメージした配置を行いました。



■びわ畑の整備活動

びわ畑の整備は前年度より新たに始めた活動で、耕作放棄地となっているびわ畑を再生させるための整備に取り組んでいます。こちらは一年を通して草刈りや枝打ちなどの作業を行っており、整備した畑でびわが収穫されることを目標にしています。びわ畑での活動は始めて間もなく、まだまだ手探りで作業を行っている状態ですが、竹林整備とともに地域の活性化に繋げていけるよう活動を引き続き行っていきます。

